

新しい美の発見

向井修二の煌めく記号展

■3月3日(水)～8日(月) ■本館6階=催し会場 ※最終日は午後5時閉場

神戸市出身の向井修二先生は、「絶対に人のまねをするな」をスローガンに掲げ1954年吉原治良により創設された具体美術協会で吉原の側近として活躍。80歳の今も衰えを見せず常に斬新な作品を生み出し続けている。空間を「無意味な」記号で埋め尽くすインスタレーションは世界的に有名。

近年は具体美術展覧会が各地で開催されるなど国内はもとより世界的に再注目を浴びており、向井修二先生の活躍はとどまるところを知らない。

ニューヨーク近代美術館、グッゲンハイム美術館、国立国際美術館、兵庫県立美術館など国内外の著名美術館が作品を所蔵している。

本館
6階
催し会場



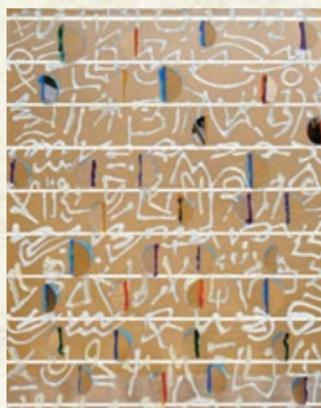
無題 2017年 (58.0×73.0×3.5cm) 3,520,000円



無題 2020年
(19.3×14.3×3.3cm) 506,000円



無題 2020年 (24.3×33.4cm) 1,100,000円



無題 2020年
(40.9×31.8cm)
1,430,000円



無題 2020年
(27.3×22.0cm)
880,000円

向井修二 &
清水六兵衛
六角記号水指
2020年
(18.0×16.0×21.0cm)
1,254,000円



向井修二先生 ご来場予定 ■3月6日(土)午後より

【特別対談】兵庫県立美術館 館長 蓑 豊× 向井修二 ■3月6日(土)午後2時より

※都合により中止の場合がございます。